

Q 爪水虫になると、 どんな症状が出るの？

A 自覚症状は少ないですが、
治療しないと
他人にうつすことがあります。

爪水虫は、爪の色や形、厚みなどに変化があらわれますが、かゆみや痛みなどの**自覚症状は少ない**ため、気づきにくく放置されやすい病気です。しかし、爪水虫は適切な治療をしないと治らず、水虫菌をまき散らし、**まわりの人に水虫をうつす**感染源になります。

爪水虫の症状

- ・爪が白または黄色くにごる
- ・爪の裏がわ(爪深部)がもろく、ボロボロになる
- ・爪が厚くなる

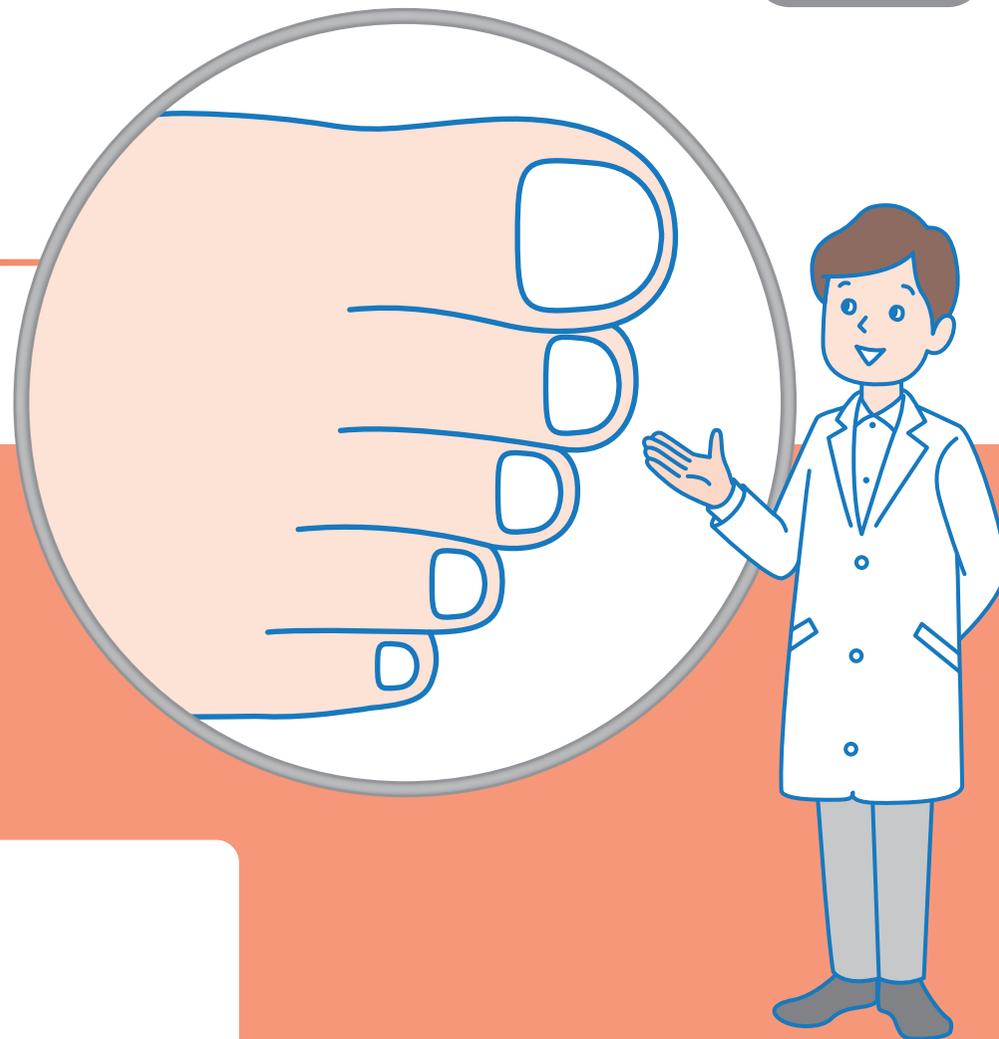


これらは爪水虫です

爪^{つめ}みずむし ガイド

爪^{つめ}みずむし

ガイド

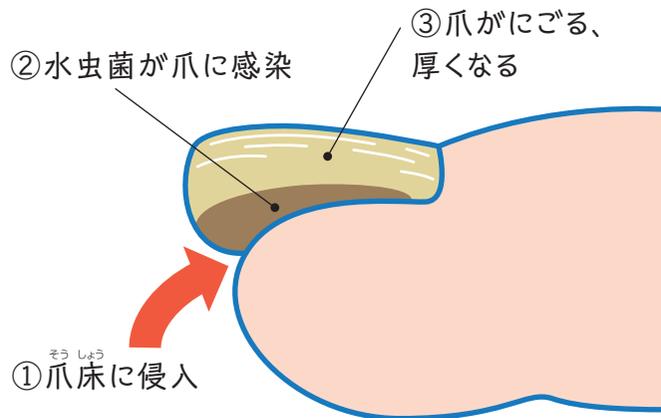


Q 爪水虫は どうやって起こるの？

A 足の白癬菌(水虫菌)が
爪に侵入して起こります。

白癬菌(水虫菌)は真菌というカビの一種で、皮膚の角質や毛、爪などに寄生して病気を引き起こします。水虫菌の感染は、足(水虫)や爪(爪水虫)に多く起こります。

爪水虫は、足に感染した水虫菌が爪の中にまで広がって起こります。そのため、爪水虫の患者さんのほとんどは、水虫にもかかっています。また、爪水虫は高齢者や糖尿病の方に多いということが報告されています。



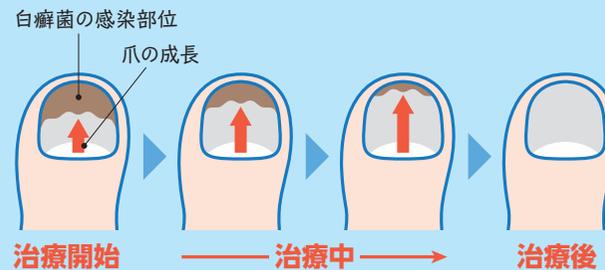
Q どれくらいで治るの？

A 爪水虫の治療はじっくり
取り組む必要があります。

爪水虫の治療には、爪水虫専用の塗り薬(外用薬)と飲み薬(内服薬)が使われます。どちらも水虫菌を殺す作用をもっていますが、一旦変色した爪が改善するには、新しい爪が生え変わるまでの治療期間が必要です。

爪が生え変わるには1年かかるといわれています。特に、足の場合は長くなるので、じっくり治療に取り組む必要があります。

爪の生え変わりのイメージ図



爪が生え変わるには1年かかると言われています。また、年齢やどの爪かによって爪の伸びる速度が異なります。

Q 予防をするためには どうしたらいいの？

A 水虫をしっかり
治すことが重要です。

爪水虫に先んじて水虫が起こることが多く、水虫を放置せず、早めに治療することが大切です。

水虫になってもかゆみがある人は10人に1人です。自覚症状がないことが多いので、痛みやかゆみがない、単に足が荒れているだけと思いがちです。早めに病院・医院を受診しましょう。

ご家族の足・爪は大丈夫ですか？

水虫、爪水虫にかかっている方は、同居家族もかかっている割合が高いことが報告されています。再発防止のためにも、感染しているご家族みんなで治療を受けましょう。

